

【様式3】

日本災害医学会 研究実施状況報告書

- ・研究代表者氏名：濱田 真里
- ・所属・職名・職種：食べるのいろは（管理栄養士）
- ・研究課題名：災害支援者の携行食の実態調査に関する研究
- ・研究期間：（ 3 ）年計画の（ 1 ）年目
- ・来年度研究助成申請を： 行う
- ・研究実施状況の概要(800字以内で記載してください)

本研究を実施するに当たり、以下の項目について事前調査を行った。

1. 災害支援者の携行食の目指す姿：「携行食」とは、人が携行する食料のことで、持ち運びができ、調理なし、または簡単な調理で食べる事が可能な食料のことである。海外では、災害救助に携わることもある軍隊の食事として「コンバット・レーション」と呼ばれる食料がある。輸送のしやすさ、保存性、エネルギー量の確保に加えて、娯楽や士気にも影響するため、おいしさも重要な要素となる。また、容器やカトラリー、温めて食べられるなどの工夫がなされたものもある。今後の災害医療に携わる支援者の食事においても、「コンバット・レーション」の兵站としての食事の考え方を取り入れることが理想的だと考える。

【様式 3】

2. 災害支援組織における携行食の規定についての確認：現在、我が国で災害救助活動を実施している団体の中で、活動時の食事が準備されているのは自衛隊や消防隊である。DMAT では、ロジ関連資器材の項目に、非常食と調理器具が記載されている。しかし、その他の医療チームにおいては、食料は個人の装備に含まれる。つまり、食事については個人の判断に任されているところがあることが示唆された。

3. 実態調査のための質問票の作成：これまでの災害支援者の健康に関する調査には、心理状況、心身の健康、精神的ストレスと食事の関連等がある。支援活動後の健康への影響は、食事を含む生活環境の変化、ストレス過多の環境など様々な要因の影響が考えられる。中でも、災害支援者の食事と健康状態に関する調査は先行研究には見受けられず、支援者が健康を維持しながら活動できる食事を実現するために、現状を知る必要がある。そこで、携行食の内容と体調を含めた質問項目を作成中である。なお、災害の規模や活動時期・場所によって、食事環境や調達できる食料が異なるため、分析が難しくなることが予測される。折しも、本年 1 月 1 日に能登半島地震が発災し、多くの医療支援チームが派遣されたことから、本アンケートは日本災害医学会会員及び能登半島地震で支援活動を実施した人を対象に実施することとした。

【様式3】

- ・現在までの進捗状況(下記ドロップダウンリストより選択してください)

進捗状況 **遅れている**

- ・現在までの進捗状況で「やや遅れている」「遅れている」を選択した場合にはその理由を200字以内で記載してください。

理由：本研究の倫理審査を申請するに当たり、2023年9月時点で、学会において倫理委員会が設置されることから、日本災害医学会において倫理審査を依頼する予定であった。2024年2月の学会主導研究中間報告後、今年度内の倫理審査委員会設置が困難との連絡を受け、本年4月に東京慈恵医科大学において訪問研究員の申請及び倫理審査の申請を実施し、現在審査結果待ちの状況である。

- ・今後の研究の推進方策(400字以内で記載してください)

東京慈恵医科大学の訪問研究員及び倫理審査が承認され次第、本学会事務局にアンケート調査を依頼し、学会員に向けたアンケート調査を実施する。承認後1か月以内には実施できるよう、引き続き質問票の作成を進める。調査実施期間は約2週間とし、Google Formsを利用したオンラインアンケートとする。結果を集計後、クロス集計、カイ二乗検定を用いて分析を行う。自由記述回答に

【様式3】

については、テキストマイニング分析を実施する。

当初の実施計画では、2年目の内容として、1年目の携行食の実態から、支援団体、支援フェーズ、支援期間、活動内容により食事の特徴を明らかにすることとしている。これらの分析も、同時に実施する。

また、支援団体へのインタビュー調査を実施し、被災地での携行食及び現地調達
の食事内容をより詳しく把握することも2年目の計画であった。こちらのインタビュー調査を実施するための倫理審査の申請も進めていく。(倫理審査機関の選定も含めて検討する。)

- ・研究発表(今まで全ての本研究に関する業績を論文と学会発表に分けて記載してください)

なし

- ・日本災害医学会学術集会での研究発表の有無

発表状況【未定】

「あり」を選択された場合は発表年や演題名等を記載してください。

- ・「未定」を選択された場合、翌年度の学術集会で発表希望はありますか？

発表状況【あり】

【様式 3】

【支出明細】 ※領収書等の提出は不要

• 施設備品費(※)：		円	<small>※10万円以上 かつ 耐用年数1年以上のもの</small>
• 消耗品費：	5,000	円	
• 旅費：	49,896	円	
• 人件費：		円	
• その他：	11,280	円	
• <u>合計：</u>	<u>66,176</u>	<u>円</u>	

今年度未使用分予算があった場合には、以下に予定を記入してください。

• 用途詳細：		円	
• 解析ソフト（SPSS）購入検討中	149,400	円	
• <u>合計：</u>	<u>150,000</u>	<u>円</u>	